令和３年５月１０日

花き生産供給力強化協議会

令和３年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

生産供給体制強化事業に関する調査研究公募要領

１．事業の目的

ＬＥＤ光による補光を活用した高品質安定多収技術、生育制御技術等について調査研究及び生産現場における導入効果の検証を実施することにより、高品質花きの安定生産供給体制の確立及び同技術の早期実用化を目指す。

２．調査研究方法

　各産地における成果の普及を早期化するため、既に花き栽培におけるＬＥＤ光照射の影響等に関する知見を有する公設試験場・大学等研究機関による共同研究形式で実施。

なお、昨年度に引き続き、本協議会が実施しているカーネーション環境制御生産技術実証事業の稲葉座長の所属機関である静岡県立農林環境専門職大学短期大学部は中核研究機関とし、静岡県、愛知県及び兵庫県の各試験場が参加することが内定している。

３．研究･調査課題の規模

（１）調査対象品目

カーネーション

（２）調査項目

　　下記課題のうち２課題以上取り組むこととし、応募申請書には当該課題についてのみ記述する。

* 1. 調査項目と調査内容
     1. 品質向上効果の高いLED光源・照明器具の探索と生産実証技術の構築

カーネーション栽培において、高品質化が期待できるLED光源を明らかにするとともに、好適な照射強度や波長領域、経済的効果の高い光源を明らかにする。

* + - 1. LED光源の違いによる品質向上効果の実証
      2. 照射波長領域の違いと生育への影響
      3. 照射強度の違いと生育評価
    1. LED光源の利用による生育制御・品質向上技術の検討

カーネーション栽培に効果的なLED照射開始時期、照射時間帯を明らかにするとともに、開花時の花色発現に及ぼす影響を明らかにして高品質化技術を構築する。

* + - 1. 照射開始時期の違いと生育及び品質向上効果時の検証
      2. 照射時間が生育および品質向上効果の検証
      3. LED照射が切り花の花色発現に及ぼす影響の品種間差
    1. LED補光がカーネーションの生育・開花に及ぼす影響の地域間差

カーネーションへのLED照明による生育制御技術の普遍性を確認するため産地間で比較し、実用性を明らかにする。

* + 1. LED補光導入生産者による経営評価

各産地におけるLED照射器具の先進的導入者における生育制御・品質向上効果を明らかにし実用技術として評価する。

* + 1. LED補光を利用したカーネーションの高品質経営モデルの構築

効果の高いLED光源（波長、経済性）、照射開始時期、照射時間を踏まえてカーネーションの高収益経営モデルを構築し、現地実証を行う。

（３）委託費

　　７００,０００円を限度とする

４．研究・調査実施期間

令和３年　月（契約日）～令和４年３月１０日

５．応募資格

応募者は、ＬＥＤ光による栽培効果に関する知見を有する大学（大学院を含む）、地方公共団体の研究機関等とする。

応募者は、研究の企画・立案及び進行管理を行う能力・体制を有するとともに、研究代表者、経理責任者を設置していること。また、静岡県立農林環境専門職大学短期大学部稲葉教授を主査とし，静岡県，愛知県及び兵庫県の各試験場による共同研究形式として実施することを了承する者。

６．公募機関数

　　１機関とする

７．対象経費

1. 補助対象経費

　　ア　直接経費：調査研究に直接必要な経費

1. 人件費

研究員等の人件費。ただし、国又は地方公共団体からの交付金で常勤職員の人件費を負担している法人（地方公共団体を含む）については、常勤職員の人件費は計上できない。

1. 謝金

補助事業者以外の学識経験者等に対する研究協力等に対する謝金。

1. 旅費

研究にかかる国内への調査旅費、検討会出席旅費

1. 試験研究費

　　ⅰ）機械・設備等

原型のまま比較的長期に反復使用ができるもので、取得価格が5０万円未満または委託金額の２割未満のどちらか低い金額を限度とする。設置工事費を含む。（いずれも消費税込み）

　　　　新たにハウス内に試験研究のための照明器具を設置する際に必要となる、分配器、タイマー、制御盤、屋内配線に要する経費。

　　ⅱ）借料及び損料

　　　　機械・設備・備品の借用料等

　　ⅲ）消耗品費

　　　　機械・設備・備品費に該当しない物品。

　　ⅳ）印刷製本費

　　　　報告書、資料等の印刷・製本にかかる経費

　　v） 賃金

　　　　研究開発に従事する研究補助者等の賃金

　　vi）雑役務費

　　　　調査研究に必要な加工・試作・分析等の外注費

1. 補助対象とならない経費

・不動産取得に関する経費

・試験用ハウスまでの新規の屋外配線設置経費

・汎用性のある事務用品など、通常の補助事業においても補助対象経費として認められていない経費

８．委託先機関の決定

　公募期間終了後、当協議会内において委託研究先選定委員会を開催して決定したのち，速やかに応募者に対して委託研究契約書（案）を送付する。

別紙　2

応募様式

様式１－応募申請書鑑文

番　号

年月日

花き生産供給力強化協議会会長　加藤孝義あて

研究機関の長※　印

　　令和３年５月１０日付けジャパンフラワー強化プロジェクト推進生産供給体制強化事業に関する調査研究公募要領に基づき、関係書類を添えて応募します

連絡先：所属、氏名、電話番号

（※研究機関の長とは、公設試等の場合は試験場長、大学・大学院の場合は学部長・所属研究領域長等のことです。公印の押印については、各応募機関の規程に基づいて処理されていれば必須ではありません）

様式２－関係書類

（１）調査･研究課題提案書

①調査項目（要領３の（２）のテーマを記入してください）

②調査・研究課題の概要

③調査・研究の参加者・責任者

④調査･研究グループの構成　（経理責任者含む）

1. 全体スケジュール

⑥事業費用見積り（以下の費目）

|  |  |
| --- | --- |
| 機械・設備費 | 千円 |
| 事業費 |  |
| 通信運搬費 |  |
| 借上費 |  |
| 印刷製本費 |  |
| 原材料費 |  |
| 消耗品費 |  |
| 旅費 |  |
| 謝金 |  |
| 賃金 |  |
| 雑役務費 |  |
|  |  |
| 計 |  |

　※：費目は適宜追加削除すること

（２）公募期間

　　令和３年５月１０日(月)から５月１４日(金)16:00まで

（３）応募方法

　　e-mailのみで受け付けます。メールの件名の冒頭に「【委託研究応募】」と記入してください。

e-mail: [jfga@mx3.alpha-web.ne.jp](mailto:jfga@mx3.alpha-web.ne.jp)

（４）問い合わせ先：

　花き生産供給力強化協議会事務局　一般社団法人日本花き生産協会　寺島

　　　e-mail: [jfga@mx3.alpha-web.ne.jp](mailto:jfga@mx3.alpha-web.ne.jp)

電話：03-3663-7277 FAX：03-3668-9301